

# 質の高い幼児教育・保育とは！？

—夏の如く、百草の個性を伸ばす—

« 「わらべうた」で日本語の美しさ、素晴らしさを知る！ »

園長 山崎立哉

4月の進級・入園から2カ月が過ぎ、子ども達はこども園生活に慣れ活発に遊んでいます。コロナウイルス感染症も1～2名の発症はあるものの、単発に限り広がる様子はありません。今後の収束を切に願います。

先月18日は、3年ぶりの保育参観、保護者会総会を行うことが出来ました。子ども達もお家の方がこども園に来てくれることをとても喜び、保護者の方にも保育に参加して頂き、子どもたちとふれあう姿が微笑ましく、開催できたことを大変嬉しく思います。保護者の皆様には、保育の様子を参観していただき有難うございました。保護者会総会では、松尾会長始め、新役員が発表され、事業計画、予算が承認されました。コロナ禍の中、本園度も手探りの保護者会活動になると思いますが、子どもたちの為によろしく願います。

また21日は、新園舎落成式を行いました。落成式では、年長児ひばり組が「わらべうた」を披露しました。「たけのこめだした」と「かたつむり」です。「たけのこめだした」は歌いながら相手を見つけじゃんけんして、勝ったら役を交代する遊びです。「かたつむり」の詩は、1人から少人数、男子と女子の別、最後は全員で語りました。ひばり組の子ども達は、言葉1つ1つをゆっくり、はっきり大きく発音して、とても素晴らしい発表することが出来ました。参加された来賓の方から「日本語の美しさ、繰り返す言葉の響きがきれいで、日本語の素晴らしさを感じました。」とお褒めの言葉をいただき、「わらべうた」の素晴らしさをあらためて確信しました。

落成式後、園舎披露・餅投げを行いました。餅投げは上棟式に時に行う儀式ですが、その時期コロナの影響で行う状況にはなく、園舎披露の時、何か感謝の気持ちを皆様にお伝えすることが出来ないものかと思案しておりました。餅投げは、最近ではあまり行われなくなっており、子どもたちにもこういったお祝いの儀式を知ってほしいと思い行いました。お天気を心配していましたが、当日、晴天で無事餅投げを行うことが出来て、また、保護者や子どもたちにも喜んで頂くことが出来て良かったです。保護者の皆様ご参加いただき有難うございました。